

令和元年度 加古川南高校 インスパイアハイスクール事業

活動報告

事業 : English Training Camp
実施日 : 令和元年8月28日(水)～30日(金)
場所 : 明石市立少年自然の家
参加者 : 12名(本校生徒6名、大学生6名)

この合宿では3日間英語を使って過ごすことを中心とし、特に英語を聞くことや話すことへの抵抗を減らしていくことを目的としています。昨年と比べて少ない人数でしたが、1人1人に関わる時間をより長く持つことができました。

【初日】

最初に大学生が企画した自己紹介を兼ねたゲームを行いました。その後、英単語しりとりで語彙力の強化を図り、また Yes/No で答えられる質問を繰り返しながら出題者が頭に思い描いた英語を当てるゲームで、情報収集にとって効果的な質問の仕方を考えさせました。

夜には、大学生5人に留学の体験談をしてもらいました。様々な国での経験・思い出を聞いて海外への興味をさらに強く持った生徒も多くいたようです。

【2日目】

初日に高校生と大学生がうまく打ち解けられていなかったようだったので、午前中にペアで自由に会話をする時間を設けました。10分程度のウォームアップのつもりでしたが、実際には、約1時間も会話を続けていました。この時点で話すことに対する前向きな姿勢が見られるようになってきました。その後は、英検や GTEC の問題を使いながらスピーキングやライティングの練習を行いました。

夜は、3日目のプレゼンテーションに向けての準備をしました。大学生の助けを得ながら、3年生は自分達を書いた論文、1年生は夏休みの宿題であるサマーワークの内容を英語でまとめていきました。

【3日目】

日本語でも難しい論文、サマーワークを生徒たちはしっかりと英語でまとめ、堂々と発表することができました。最後に、みんなで3日間の感想を言い合ってキャンプを終了しました。

【キャンプを終えて】

普段の授業では、間違いを恐れてなかなか話す勇気がでてこないということがあります。英語を使おうとする姿勢を引き出すために、今回も大学生の存在が非常に大きな力となりました。初日は思うように英語が話せず暗い表情で部屋を出ていった生徒も、大学生と交流する中で徐々に表情が明るくなり、楽しそうに話をする姿は印象的でした。

今回のキャンプでは、全ての日程でリスニング活動を入れました。段々と聞き取れる問題が増えているという実感を持つことで、諦めずに何度も繰り返すことの大切さを感じることができたのではないのでしょうか。

「英語に興味があるけど、なかなか使えるようにならない。」と思うことは多いと思います。そのような生徒にはぜひ来年度のキャンプに参加してもらいたいと思います。

【活動写真】

